

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 2 年 4 月 20 日

設置・運営主体	社会福祉法人はなみずき会		
設置主体	社会福祉法人はなみずき会		
経営主体	社会福祉法人はなみずき会		
事業所名 (施設名)	ぽかぽか保育園	種別	保育所
所在地	〒 357-0021 埼玉県飯能市双柳 1 2 8 4 - 1		
電 話	042-974-8300		
FAX	042-974-8304		
Email	pokapoka@bz03.plala.or.jp		
URL			
施設長氏名	和田 里美		
調査対応担当者	大河原 えり子 (所属、職名：ぽかぽか保育園、副園長)		
利用定員	60 名	開設年	平成 19 年 4 月 1 日
理念・基本方針	<p>「ぽかぽかネットワーク」を生かし、一人ひとりの子どもへのていねいな保育と、保護者の方への温かなサポートを行っていきます。子どもの心の基礎の育ち、基本的な生活習慣の自立を育てるとともに、人と関わる力、美への感性を育てる環境を提供します。これまで築いてきた経験をもとに、次の4つの柱で保育を進めていきます。1. 子どもの保育・生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。・人に対する愛情と信頼感を大切にすることを育てるとともに、自立・協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。・子どもが体験を通して、豊かな感性・表現力を養い、創造性の芽生えを培う。2. 保護者への支援・保護者が子どもの成長の喜びを共有できるよう、保育への参加を積極的に求める。・保護者が養育力を向上することができるよう適切な支援を行う。・保育園の特性、保育士の専門性を生かし、支援にあたる。3. 職員の資質向上・保育実践や計画的研修を通じて保育の専門性を高める。・保育実践や保育内容に関する職員の共通理解を図り、協調性を高める。4. 地域社会との関わり・子育て支援に関する地域の関係機関・団体等との積極的な連携及び協力を図る。・子育て支援センターを中心に、地域に開かれた子育ての拠点としての機能を発揮する。・一時保育事業・休日保育事業・障害児保育事業を通じて、地域で保育を必要としている児童への対応を積極的に実施する。</p>		
開所時間 (通所施設のみ)	平日(月曜日～土曜日) 7:00～19:00 一時保育 8:00～16:00 (延長保育 17:00まで) 休日保育 8:00～18:00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	12	10	1	12	4
1歳児	23	27	3	19	4
2歳児	25	28			
3歳児					
4歳児					
5歳児					
計	60	65	4	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		13人	
うち	保育士	10人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	0人	その他（経理・保育補助） 3人
非常勤職員数		36人（常勤換算 16人）	
うち	保育士	23人	（常勤換算 10人）
	保健師・看護師	1人	（常勤換算 1人）
	栄養士・調理員	6人	（常勤換算 2人）
	その他（事務他）	6人	（常勤換算 3人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 3人	非常勤： 11人
	退職	常勤： 0人	非常勤： 0人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		31歳（歳）	
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		5.2年（年）	
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	100~150円/時間
休日保育	○	無料
障害児保育	○	—
一時保育	○	2350円
地域子育て支援センター	○	無料
乳幼児健康支援一時預かり事業 (病後児保育)	×	—
アレルギー等対応給食	○	—
その他 (事業名 :)		
(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。		

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 31 年度におけるボランティアの受け入れ数 (延べ人数)

5 人

・ボランティアの業務

保育補助業務、清掃業務

【実習生の受け入れ】

・平成 31 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 保育士 2人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	546.11 m ²
	児童1人あたり 9.1 m ² (計算式：建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	431.66 m ²
	児童1人あたり 7.2 m ² (計算式：園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築（含大改築）年	平成 18年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・園児の送迎時に、生活の様子を伝えながら保護者とコミュニケーションを取り、相談事や意見をききとれるようにしている。・保育士体験を通し、園児への対応の仕方など、園の方針を体感してもらい、アンケート用紙にて、保護者の感想や意見を記入してもらっている。保護者との情報交換として、連絡ノートを活用して、保護者からの意見を聞いたり、相談に応じている。・年3回の懇談会で園生活のことや、子どもの発達の仕方、食育、保健等について情報提供したり、クラスで話し合う時間をつくり、保護者の意見を聞いたりして、保護者とのコミュニケーションを図る場を設けている。・気軽に職員に声をかけられるよう、職員全員が丁寧な対応を心がけている。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

・同じ法人内の就労支援施設に委託して施設の利用者さんに、保育士が本来やらなければならない食事後の片付けやエプロン洗い、ベットのセッティングやおもちゃの消毒等をやっている。そのことによって保育士の仕事の負担軽減と子どもたちへの手厚い保育が実施できている。・就労支援施設との連携によって行事の準備や保育園の修繕、さらには緊急時の避難の時など男性職員の応援を得ている。・気になる子のケース、虐待が疑われるケース等就労系の職員にも相談しより幅広い見立て、対応が出来ている。事業所間での交流を図るために、法人内での研修を実施している。それぞれの事業所で研修会を計画したり、行事への参加を募ったりし、職員間の交流や、それぞれの事業所への理解が深まることを目的として行っている。

【第三者評価の受審状況】

・ 受審回数（前回の受審時期）

+

1 回 （平成 27 年度）